

平成 30 年度通常（第 1 回）理事会議事録

日 時： 平成 30 年 6 月 16 日（土） 14：00～15：00

場 所： 東京夢の島マリーナ 2 階会議室

出席理事：（敬称略、順不同）

河野博文、中川千鶴子、桑原啓三、馬場益弘、中澤信夫、川北達也、坂谷定生、富田三和子、平松隆、宮野幹弘、中野佐多子、安田大助、尾形依子、斎藤渉、作田智恵子、橘田佳音利、高間信行、長塚奉司、高橋祐司、中島量敏、大西治夫、森田豊三、黒川重男、磯部君江、岡村勝美、菊池邦仁、新田肇、大島茂樹、中村和哉、宇都光伸

以上 30 名

出席監事：児玉萬平、上野保

以上 2 名

オブザーバー：安藤淳総務委員長、芝田崇行環境委員長、増田開ルール委員長、戸張房子国際委員長、大坪明外洋安全委員長、地川浩二財政委員長、鈴木一行国際委員、豊崎謙広報委員、鈴木保夫参与、大村雅一事務局長

議事の経過及び結果

（定足数の確認）

理事 32 名中、出席者 30 名により、定款 34 条に基づく定足数を充足しており、本理事会は成立した。

（議長による開会宣言）

定款 33 条に基づいて、河野博文会長が議長となり、平成 30 年度通常（第 1 回）理事会の開会を宣言し、議事進行を川北達也理事に委任した。

（議事録署名人）

本理事会の議事録署名人として、議長指名により、大島茂樹、岡村勝美の両理事が任命された。

河野会長から、新任理事各位におかれましては、しかるべき分野で積極的な関与を期待します。その他、重要な案件につき、審議いただきたいとの挨拶があった。

<審議事項>

1) 平成 30・31 年度会長・副会長・専務理事・常務理事の選任

河野会長から資料に基づき、平成 30・31 年度会長・副会長・専務理事・常務理事の選任について説明があった。

定款第 22 条 2 項に基づいて、会長は、河野博文（再任）、副会長は、中川千鶴子（再

任)、桑原啓三(再任)、馬場益弘(新任)、中澤信夫(新任)の4名、専務理事は、川北達也(新任)、常務理事は、坂谷定生(再任)、富田三和子(新任)の2名とした。定款第21条2項に基づいて、会長を一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の代表理事とし、副会長、専務理事及び常務理事を業務執行理事とする。また、経理規程第6条に基づく会計担当理事に斎藤渉(再任)としたとの発言があった。

満場一致で承認された。

2) 平成30・31年度顧問・参与・委員長等

川北専務理事から資料に基づき、平成30・31年度顧問・参与・委員長等について説明があった。

平成30・31年度顧問は、戸田邦司、秋山雄治、森山雄一、植松眞の4名(敬称略)、参与は、大谷たかを、鈴木保夫、青山篤、小山泰彦、望月宣武の5名(敬称略)とする。定款第28条に基づき、理事会の同意を得て、会長が委嘱する。

各委員会委員長は、安藤淳総務委員長、地川浩二財政委員長、安藤正雄事業開発委員長、柳澤康信広報委員長、芝田崇行環境委員長、富田三和子レディース委員長、関一人アスリート委員長、増田開ルール委員長、大庭秀夫レース委員長、中村和哉ODC計測委員長、戸張房子国際委員長、山川雅之医事・科学委員長、棚橋善克ドーピング裁定委員長、川北達也普及指導委員長、森信和国体委員長、斎藤渉オリンピック強化委員長、中村公俊ジュニアユース・アカデミー委員長、中澤信夫キールボート強化委員長、河野博文オリンピック・パラリンピック準備委員長、馬場益弘外洋常任委員長、八木達郎外洋計測委員長、大坪明外洋安全委員長、植松眞アメリカズカップ委員長、高間信行障がい者セーリング推進委員長、植松眞ジャパンカップ委員長とする。定款38条に基づき、理事会の同意を得て会長が委嘱する。

最高審判委員会委員は、篠田陽史、大谷たかお、青山篤、秋元和子、前田彰一、棚橋善克、柴沼克己の7名(敬称略)とする。定款第41条に基づき、会長が委嘱するとの発言があった。

満場一致で承認された。

3) 平成30年度第1次補正予算(案)

斎藤会計担当理事から資料に基づき、平成30年度第1次補正予算(案)について説明があった。

平成30年度当初予算策定後に確定した収支および見込金額が変更となる収支を反映するため、第1次補正予算案を策定した。主な変更点は、管理費・その他では、消費税納付額に対する繰入金額を、東京五輪準備委員会、オリ強委員会、外洋常任委員会、普及指導委

員会に割り振り計上した。なお、前年度に繰入を行わなかったことを考慮し、過年度分も含めて割り振りした。また、メンバー役務費を実態に合わせて700千円増額し2,200千円とした。普及指導委員会は、①国際的スポーツ人材養成委託事業は、本年度実施しないこととなり、収支ともに0円を計上した。②育成・コーチング・SFT事業費については、本年度は支出を要さない見通しとなったため、0円を計上した。投資活動収支は、東京オリンピック準備委員会の収入に計上されている寄付金収入3,000千円については、一旦東京五輪準備積立に組み入れる必要があるため、収支とも同準備積立に3,000千円を計上した。事業開発委員会は、収益事業収支の正味財産増減額が赤字予算との指摘を顧問会計士から受けたことに対し、事業の規模を拡大し収益の増加を目指すこととした。以上の結果、総合計は、収入合計732,480千円、支出合計731,914千円、当期収支差額566千円となり、ほぼ収支均衡の予算となったとの発言があった。

満場一致で承認された。

4) World Sailing インターナショナル・メジャラー (IM) 候補者の推薦基準の改訂

中村 ODC 計測委員長から資料に基づき、「World Sailing インターナショナル・メジャラー (IM) 候補者の推薦基準」の改訂について提案があった。

「IM 候補者推薦選定等に関する基準」を一部改定する。改訂にあたっては、IJ/IU 候補者推薦選定基準と齟齬がないように整理した。提案の趣旨と現規定の問題点は、規定の曖昧さの排除、推薦基準の明確化、決議の定足数、推薦の申請書類規定や付随する提出期限、守秘義務等々である。前回理事会協議事項からの変更はないとの発言があった。

満場一致で承認された。

<報告事項>

1) 東京オリンピック・パラリンピック準備委員会報告

桑原オリンピック準備委員会副委員長から、オリンピック・パラリンピック準備委員会報告があった。

オリンピック・パラリンピック準備委員会は、2020 東京オリンピック・パラリンピックの招致決定を受けて、オリンピック強化選手の強化ならびに運営役員の養成を主たる事業目的で進めている。そのために、日の丸セーラーズロゴを作成し、協賛社の獲得を継続しているので、各理事、各委員会からの協力をお願いします。本年9月にセーリングワールドカップ江の島大会開催、2019年度はテストイベントとセーリングワールドカップを開催予定であるとの発言があった。

2) オリンピック強化委員会報告

斎藤オリンピック強化委員長から資料に基づき、オリンピック強化委員会報告があった。

第18回アジア競技大会代表選手団の派遣について、8月18日～9月2日、インドネシア・ジャカルタにおいて開催される代表選手12名、選手団役員8名を内定した。今回はオリンピック種目の他、ユース種目として採用されたレーザー4.7クラスについても将来の有望選手を育成する意味で派遣する。アジア大会はJOCが国費で派遣することから、オリ強委員会は派遣選手を理事会に報告して承認していただいている。

また、最近の国際大会の主な成績は、プリンセスソフィア大会（3/30～4/7、スペイン・マヨルカ）470級女子（48艇参加）で吉田愛・吉岡美帆組が優勝、470男子（79艇参加）で磯崎哲也・高柳彬組が3位の成績をおさめた。セーリングワールドカップ・イエール大会（4/22～29、フランス・イエール）470級女子（36艇参加）で吉田愛・吉岡美帆組が3位の成績をおさめた。また、セーリングワールドカップ・マルセイユ大会（6/5～10、フランス・マルセイユ）470級男子（18艇参加）で岡田奎寿・外菌潤平組が3位の成績をおさめたとの発言があった。

3) ルール委員会報告

増田ルール委員長から資料に基づき、ルール委員会報告があった。

①平成30年度IJ/IU候補推薦委員会の構成について、JSAFルール委員会は、World Sailingの認定するインターナショナル・ジャッジ（IJ）ならびにインターナショナル・アンパイヤ（IU）の資格認定申請を行おうとする者について、IJ/IU候補者推薦委員会を設置している。今期の委員構成は、8名の推薦委員会委員を人選した。②Hayama Marina International Friendship Regatta主催団体より大会における競技規則の変更（アデンダムQの使用）について、日本セーリング連盟規程7に基づく承認申請があり、審査の結果、承認したとの発言があった。

4) ANA ウィンドサーフィンワールドカップ横須賀大会

宮野理事から資料に基づき、ANA ウィンドサーフィンワールドカップ横須賀大会について実施報告があった。

2018年5月10～15日、神奈川県横須賀市津久井浜海岸で、30ヶ国92選手の参加を得て、ANA ウィンドサーフィンワールドカップ横須賀大会が開催された。昨年同様、特別協賛は全日本空輸株式会社（ANA）である。観客動員約5万人を集客できた要因は、①大型ビジョンを2カ所に設置して競技観戦できた。②GPSアプリを駆使してレース観戦でき、好評を得ていた。③媒体（新聞・ラジオ・テレビ・インターネット等）の積極的な活用があった。セーリングにおいても参考になることが多々あるとの発言があった。

5) 平成30年度会員登録数(5月31日現在)

大村事務局長から資料に基づき、JSAF会員登録数実績について報告があった。

平成30年度会員登録(5月31日)は合計7,229名で、決済システム登録方法による会員の利便性の効果もあるとの発言があった。

6) 平成30年度臨時第1回理事会議事録案(5月26日)

大村事務局長から資料に基づき、平成30年度臨時第1回理事会議事録(案)について報告があった。

7) その他

①大村事務局長から資料に基づき、外洋三浦会長変更について報告があった。

②新任理事各位から挨拶があった。

平成30年度通常(第1回)理事会は、上記の通り議決ならびに承認されたことを確認し、議事録署名人は以下に記名・捺印する。

平成30年 6月 16日

議 長 会 長 河 野 博 文

議事録署名人 理 事 大 島 茂 樹

議事録署名人 理 事 岡 村 勝 美

副 会 長 中 川 千 鶴 子

副 会 長 桑 原 啓 三

副 会 長 馬 場 益 弘

副 会 長 中 澤 信 夫

専務理事 川 北 達 也

常務理事 坂 谷 定 生

常務理事 富田 三和子

監 事 児玉 萬平

監 事 上野 保